

薬剤耐性 (AMR) 対策に関する保健所の取組み



Q 保健所って
どんなところ

- ・ 医療安全の推進（医療機関への立入検査や指導等）
- ・ 感染症対策（エボラ出血熱等の新しい感染症への対策や院内感染予防等身近な感染症への対応）
- ・ 感染症情報の国民への提供
など地域全体の住民の健康のレベルアップを図る機関です。

薬剤耐性 (AMR) 対策に関する保健所の取組み (1)

1. 普及啓発・教育

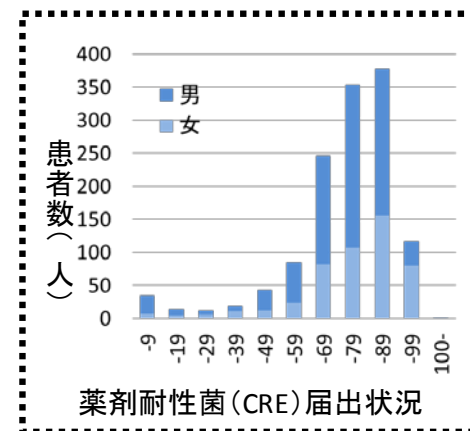
- 1.1 国民や医療機関等に対する薬剤耐性対策重要性の理解促進に関する普及啓発活動



住民に対する薬剤耐性の研修会 (茨城県土浦保健所)

2. 動向調査・監視

- 2.1 感染症法等に基づくAMR発生動向調査と事例対応
- 2.2 地域医療機関との連携による医療機関における抗微生物薬使用量の動向の把握 (一部で実施)
- 2.4 薬剤耐性に対する検査機能の強化 (地方衛生研究所と共同で実施)



薬剤耐性菌 (CRE) 届出状況

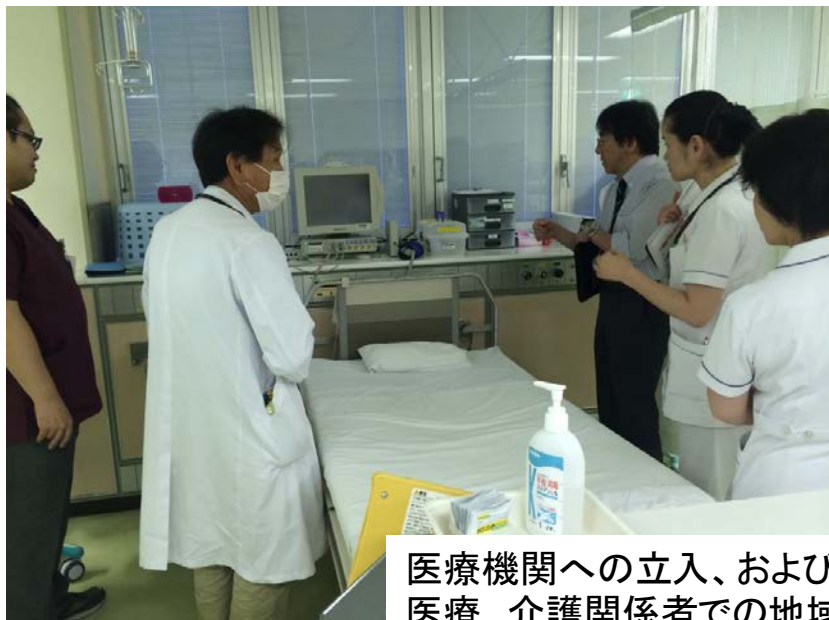
薬剤耐性 (AMR) 対策に関する保健所の取組み (2)

3. 感染予防・管理

3.1 医療、介護における感染予防・管理と地域連携の推進

3.3 薬剤耐性感染症の集団発生への対応能力の強化

(地域保健総合推進事業(全国保健所長会事業)*で実施)



医療機関への立入、および専門家との連携による院内感染対策の指導(左)と
医療、介護関係者での地域連携推進会議(右) (佐賀県唐津保健所・唐津赤十字病院)

※番号は「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン (2016-2020)」(骨子)の項目に対応

*平成28年度地域保健総合推進事業(全国保健所長会協力事業)新興再興感染症対策等健康危機管理推進事業

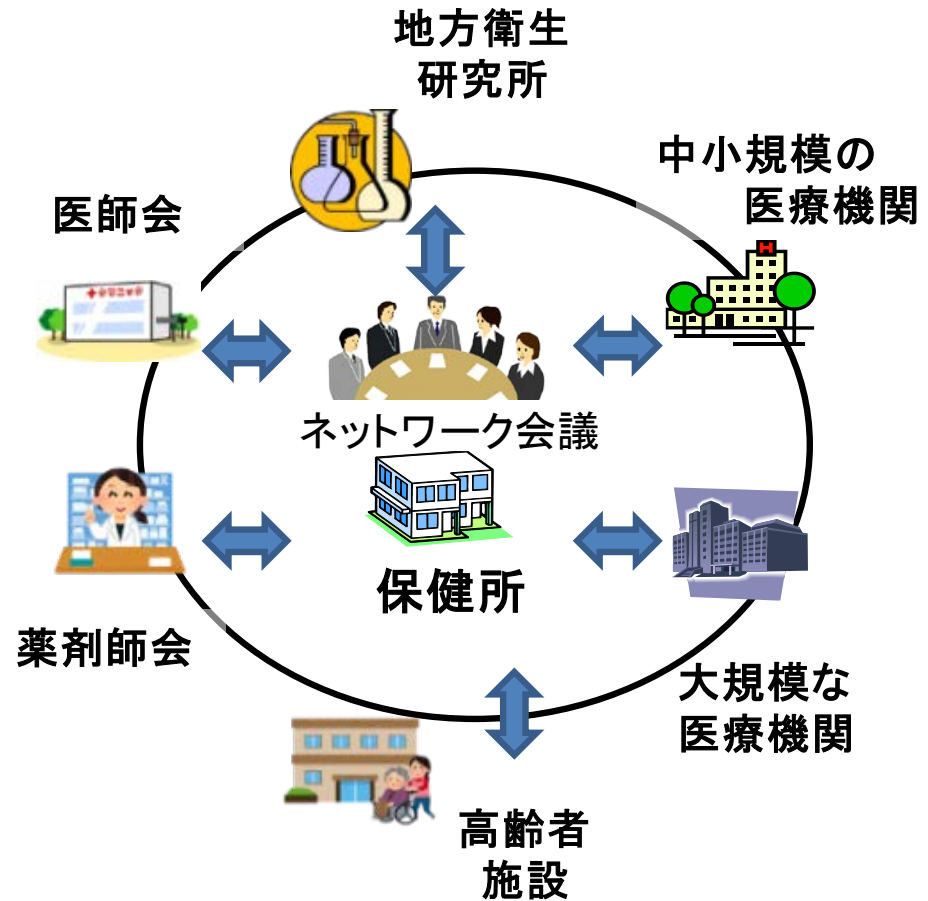
地域における薬剤耐性 (AMR) 対策のイメージ

地域感染症対策ネットワーク(仮称)整備に向けた取組の推進

地域における感染予防・管理等に一体的に取り組むため、関係機関間(医療機関、診療所、薬局、高齢者施設、保健所、地方衛生研究所等)の地域におけるネットワーク形成し、地域において薬剤耐性(AMR)対策に取り組む。



保健所におけるネットワーク会議の様相(市長、議長等)鹿児島県伊集院保健所



地域感染症対策ネットワーク (仮称)